

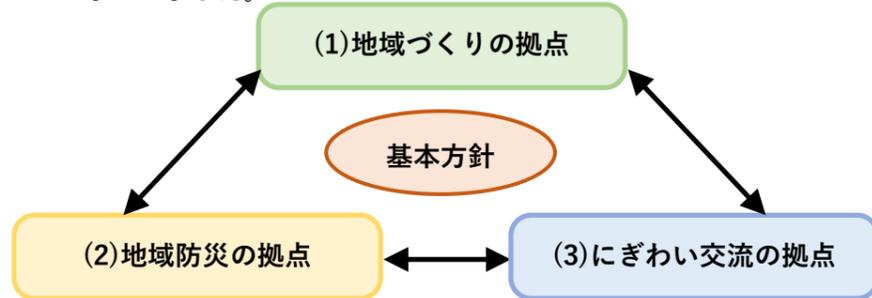
【1 基本コンセプト】

米川地区「夢プラン」を実現する持続可能な地域づくりの活動拠点

米川地区「夢プラン」とは、平成23年に「米川地域づくり連絡協議会」により作成された、中山間地域で生活する方々による手づくりの「地域の将来計画」のことです。夢プランでは、地域の夢、地域の課題や解決策、将来目標、役割分担を定めています。また、平成19年に作成し、平成27年に改定した下松市中山間地域づくり指針の中でも、「夢プラン」の実現に向けて、多機能集約型の地域活動拠点施設の整備を検討するとしています。

【2 施設整備の基本方針】

基本コンセプトや住民アンケートをもとに、施設整備の基本方針を次の3つにまとめました。



下松市米川地区「夢プラン」

コミュニティ機能の充実を目的とし、実施項目として、地域活動拠点施設の整備を掲げ、福祉機能や地場産品の直売施設等、拠点施設に必要な機能等について、関係者の意見を収集・調整する。

(一部抜粋)

(平成23年作成、平成30年4月改定)

(1)地域づくりの拠点

- 中山間地域の「米川らしさ」を生かした地域づくり、暮らしや生涯学習の活動拠点となる施設を目指します。
- 建物は、可能な限り木材を使用し、地域の景観に調和した施設とし、屋外のスペースなどからは、米川地域の豊かな自然が感じ取れる空間の配置を計画します。
- ATM機能を有した郵便局の設置を検討しています。
- 移動販売車の販売スペースや、地場産品の販売スペースの確保、さらには日用品、食料品の販売の可能性を探り、日常の暮らしが充実できるような施設を計画します。
- 診療体制のさらなる充実として、リモート診療の導入など医療支援体制を計画します。
- 米川地域の人口減少、過疎化等が進行していく中での住民サービスの維持・向上と行財政改革の一環から、出張所機能等の行政サービス委託の可能性を検討し、効率化した新たな住民サービスへの活用を計画します。

(2)地域防災の拠点

- 地域の防災拠点として、災害に強く、地域の総合防災力の充実と強化につながる施設を目指します。
- 耐震性に優れた建築物を計画し、非常時でも施設機能を維持し、避難所として運営できるよう防災倉庫を確保します。併せて消防機庫も施設内に整備し、消防団の活動拠点及び地域防災の新たな拠点となる施設整備を計画します。

(3)にぎわい交流の拠点

- 子どもからお年寄りまで、地域内外の多様な世代が集い、人の輪が広がる施設を目指します。
- ユニバーサルデザインやバリアフリーに対応し、福祉的機能も充実した建築物として、誰でも利用しやすい施設を計画します。
- 多目的の空間を室内外に配置し、世代間を超えた交流ができる場を計画します。
- 子育て支援の機能を充実させるため、授乳室やキッズスペースなどを計画します。
- 図書コーナーを配置し、気軽に知識や情報を得られるような、生涯学習の場を計画します
- 米川地域にある観光資源を活用するために、情報発信機能や、立ち寄り・休憩などの施設機能を充実させ、地域内外の方々が利用できるような施設として計画します。

【3 施設の必要諸室及び規模】

米川地域づくり拠点施設に必要な機能を、現在の米川公民館の地域コミュニティ活動や、住民意向・要望と施設整備の基本方針を基に、下記のとおり「多機能複合型施設」として計画します。(必要に応じて追加・変更をします。)

(1) 地域づくりの拠点	総合事務所	・公民館管理、出張所機能、災害対応の拠点 ・移住定住などの情報窓口、ダムカード配布 ・ATM機能を有した郵便局の設置を検討
	調理室	・配食サービスやお祭りなどのイベント、そば打ち体験・料理教室(アマゴ料理など) ・災害時の炊き出し など
	大会議室	・軽スポーツ(卓球・体操など)・各種イベント、各種会議等(机・椅子収納共) ・災害時の避難スペース
	和室	・各種会議、休憩等での利用、災害時の避難スペース
	診療室	・出張診療の機能を有する
(2) 地域防災の拠点	多目的スペース	・物品、地域産品販売スペース
	消防機庫・外部倉庫	・消防車の格納、災害復旧器具等の収納、土のう置場など
	防災倉庫	・防災備品の収納
(3) にぎわい交流の拠点	シャワー室	・災害時の利用・平時の利用も可能
	交流ラウンジ(ロビー)	・キッズスペース、図書コーナー、立ち寄り休憩スペース ・観光案内・地域情報発信など
	授乳室	・手洗い機能付き
その他	屋外多目的スペース	・屋外のイベント広場、災害時の避難スペース・防災ベンチ、防災東屋など
		・トイレ・倉庫・書庫・駐車場(身障者用共)・駐輪場・移動販売車停留所など

【4 施設の必要性能・設備】

- 1) バリアフリー及び、ユニバーサルデザインに配慮し、福祉的機能の充実した施設を計画します。
- 2) 建築後も持続可能で、長期間使用できるようにするために、長寿命化を考慮し設計を行います。
- 3) 環境負荷の低減・省エネルギーに配慮した建築物とします。
- 4) 施設運営や施設利用で、情報通信設備を充実させ、地域内外の施設利用者の利便性の向上を図ります。

【5 概算事業費】

施設整備に関する費用は、今後のさらなる資材価格の高騰や、設計時の仕様・施工条件等により変動する可能性があります。

項目	内容	概算金額	備考
設計費	造成設計	22,000	水路改修設計含む
	建築設計	28,500	地盤調査費含む
	工事監理費	18,000	造成工事、建築工事
工事費	造成工事費	210,000	スロープ・擁壁・敷地高上げなど
	建築工事費	293,500	給水引込、電柱移設等含む
	周辺外構整備費	28,000	防火水槽・駐車場整備など
合計(千円)		600,000	

